

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会（第 15 回）

議事要旨

日時：令和 7 年 2 月 3 日（月） 午後 2 時から

場所：都庁第一本庁舎 19 階 19D 会議室

1. 開会

2. 審議事項（1）『『レインボーライド 2025・マルチスポーツイベント実施計画策定支援及び運営委託』契約について』

（1）開催概要

- 日時：デフリンピックと同時期の開催を避けるため、11 月下旬～12 月上旬を予定
- 参加人数：本年度と同数の 6,000 名、マルチスポーツは 20,000 名の来場の見込。
- コース：基本的に本年度と同様。一部若洲海浜公園内の工事により、部分的に変更する箇所が出る予定。
- 来年度の重点取組のポイント
 1. フォトスポット、エイドステーションを充実させることによる、参加者の満足度向上
 2. インバウンド獲得に向けた海外 PR
 3. 協賛企業の更なる増加
 4. スタッフ研修の拡充による、より一層の安全管理を実施

（2）仕様書

- 基本的な構成・内容は本年度と同様。
- 上記 4 つのポイントを反映した内容とする。

（3）入札については、令和 6 年度と同様に総合評価方式を採用。

技術審査委員会を設置して、採点、評価を行う。

【委員からの質問】

協賛募集計画の提案について、協賛金を集める主体は実行委員会なのか、受託事業者なのか。

【事務局より回答】

協賛社との調整については我々と受託事業者が連携して実施する。なお、具体的にどういった企業から、どの程度協賛金を集められるかという金額についても提案を求める。

【審議事項（１）について全員異議なし】

審議事項（２）「その他令和７年度契約予定案件について」

- 来年度の契約予定（３件）
 - １． GRAND CYCLE TOKYO に関する法律相談業務の年間契約
 - ２． 実行委員会の委員方々への報酬に係る税務処理等の年間契約
 - ３． レインボーライドの首都高利用に係る契約

【委員からの質問】

法律相談業務委託は今年度も契約しているのか、またどのような相談が対象なのか。

【事務局より回答】

今年度も実施している。イベント準備や本番実施の際の労働法規や仕様書の記載等について相談、確認をしている。法律相談業務委託は競争入札で行い、実績に基づいて報酬を支払う方式である。

【審議事項（２）について全員異議なし】

3. 報告事項（１）「レインボーライド 2024・マルチスポーツ開催報告について」

- レインボーライド開催実績
都知事、港区長、江東区長に加え、国際自転車競技連合（UCI）理事のトニー・ミッチェル氏が出席し、UCI BIKE CITY LABEL 認証盾の授与式も実施。
- マルチスポーツの開催概要
来場者数：約 22000 名
誰もが楽しめる体験コンテンツや、オリンピック・パラリンピアンのパフォーマンス・トークショーなどを実施。大学生選手が参加した「GCT クリテリウム」をシンボルプロムナード公園で実施し、会場を盛り上げていただいた。
- レインボーライド、マルチスポーツともに約 9 割の方が満足したと回答。

【委員からの意見】

3 回目ということで、運営もこなれてきた。ライドのフィニッシュからマルチ会場への動線もスムーズで良かった。今後、良いものは残し、整理するものを見直しをかけるなどして、長くできるイベントにしてほしい。

【委員からの質問】

全体的に事故などはなかったのか。

【事務局より回答】

救急搬送が 2 名、大会後病院に行かれた方が 1 名、合計 3 名（いずれも軽傷）。

報告事項（2）「THE ROAD RACE TOKYO TAMA2025 一般参加レース募集概要及びパラサイクリング実施内容について」

一般参加レース募集概要

- ・ 名称は『THE ROAD RACE TOKYO CHALLENGE 2025』とする。
- ・ スタートは 11 時 30 分を予定。エリート男子は 11 時頃に最終フィニッシュ予定のため、参加者にとってはエリートが走行した直後の UCI 公認コースを走ることができる貴重な機会となる。
- ・ コースは JR 青梅駅に近い「天ヶ瀬グラウンド」、青梅周回コースを 1 周走行し、フィニッシュは「JR 青梅駅前」、総距離 16.6 km のコースである。前回大会の一般参加者からの意見を踏まえ、エリートレースのコースを一部活用した公道にて実施予定。
- ・ 募集人数は 500 名、参加資格は 12 歳以上、参加可能車種はロードバイク等である。また、参加料は 4,400 円とする。
応募方法について、特設ホームページより 2 月中に募集を開始予定、先着順とする。
- ・ あわせて、1 月 30 日に開催した多摩専門部会において、次のとおり主なご意見をいただいた。これらを踏まえ、具体的な内容を今後検討していく。
 - 安全第一を前提に運営すべき。
 - ファンライドの方がより多くの人に受け入れられる。
 - タイム計測を厳密に行い順位をつけると競技性が上がり、リスクが高まる。
 - グループスタートの管理について、安全性を考慮のうえ検討すべき。
 - 参加可能車種の範囲を広げた方が良い。

パラサイクリング実施内容

- ・ パラサイクリングの全 4 クラスについて、より多くの方々に幅広い魅力を感じてもらう取組を実施予定。
- ・ 具体的な実施内容は、主に 4 点を考えている。
- ・ 1 点目は、エリート男子 スタート時のパレードランへの参加である。注目が集まるパレードランにおいて、関係者やゲストと一緒に、パラサイクリング全 4 クラスの走行を実施。あわせて、J SPORTS 等の中継も予定。

- ・ 2点目は、大会前日イベントでのPRである。前日イベントにおいて、エリートレースのプレゼンテーション等と合わせて、パラサイクリングのPRを実施。
- ・ 3点目は、フィニッシュ会場でのエキシビション走行である。エリートコース一部の公道を活用し、パラアスリート等によるエキシビション走行を実施。あわせて、ステージでのトークショー等を実施。
- ・ 4点目は、パラサイクリング体験である。日本パラサイクリング連盟等と連携のうえ、乗り方だけでなく、自転車の構造、競技種目等のレクチャーを実施。

その他

- ・ エリート男子のコース紹介動画を紹介する。今後、自治体等の関係者にもデータ提供し、各ホームページやイベント、関係施設等でご紹介いただくよう依頼する。

【委員からの質問】

参加者の安全管理はどのように実施するのか。

【事務局からの回答】

エントリー時に制限時間等を詳細に事前説明するとともに、サポートライダー等を適切に配置し、安全管理を徹底する。

4. 報告事項（3）「令和7年度予算案について」

- ・ 「GRAND CYCLE TOKYO の推進」として、18億650万円予算計上。
- ・ 執行に関して削減できる部分は削減しより効率的な運営をはかりたい。

5. 閉会